北海道産官学研究フォーラム副理事長の藤原達也さんによる開催報告です。

11 月 6 日（木）札幌駅前ビジネススペースにて会場 30 名、オンライン 150 名程の参加により、「農村と都市共生セミナー」が北海道産学官研究フォーラムと北海道高度情報化農業研究会の共催で開催されました。

基調講演は農都共生研究会代表（慶應義塾大学 SDM 研究所顧問）林美香子さん。「農都共生ライフに向けて~ウエルビーイングな暮らしの実践~」というテーマで、農村と都市の共生による地域づくりについて、全国や世界各国の事例、ウエルビーイングな暮らしの実践例などを幅広く語られました。

続いて、メノビレッジ長沼のレイモンド・エップさん、荒谷明子さんご夫妻が「大地再生の旅～メノビレッジ長沼の取組み」というテーマで特別講演。「リジェネラティブ農業」の実践と、大地の恵みを如何に植物の成長につなげるかなど、豊富な体験を基に具体的な成功事例を語られました。

3 番目に登壇されたファームレストラン花茶の 小栗美恵さんは「農産物の高付加価値化と六次産業化の取組み」と題しての講演。都会の人達と農業者が互いに刺激しあい向上しあえる関係が構築され、コンサートやワークショップ、体験学習を多数開催するなど地域と溶け込んだこれまでの歩みを語られました。

後半は北海道農業機械工業会の竹中専務理事の司会で「持続可能な食と農の実現に向けて」というテーマで講演内容を深堀りし、農村と都市の共生、大地と人

間の共生など幅広い議論が展開されました。参加者の共感も得て、とても有意義なセミナーとなりました。

開催概要は北海道産官学研究会のホームページをご覧ください。

https://h-sangakukan.jp/events/4963